

* 航空自衛隊・府中基地に行ってきました

航空総隊司令部が横田基地に移転したあとは

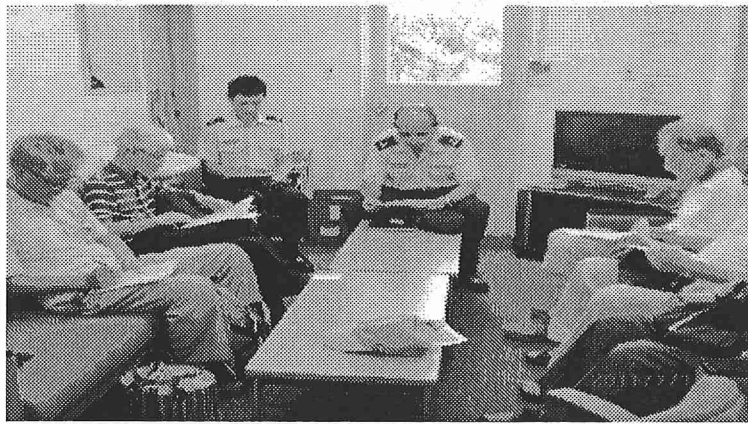
府中基地はどうなるの？

―「沖縄県民と連帯する府中の会」と交流―

横田基地問題を考える会

ニュース NO. 11

連絡先 電話&FAX 0428-22-6273
ホームページ アドレス
yokota-peace.sunnyday.jp



来年3月までに航空総隊司令部が横田基地に移転したあとは、航空自衛隊府中基地は一体どうなるのか、そもそも府中基地ってどんな基地なのか。
さる7月15日、横田基地問題を考える会の4人が、京王線東府中駅のすぐそばにある空自府中基地に行ってきました。
事前の問い合わせで、府中基地広報部では、こちらの質問事項は全部、北関東

防衛局の方でしか答えられないという返事でしたが、とにかく府中基地がどんな姿なのかそれだけでも見に行くからというところ、では基地正門脇の「面会所」に来てくれということになりました。

これでは形だけの面会で終わってしまうので、地元である「沖縄県民と連帯する府中の会」に連絡して、この会の人たちにも基地正門にきてもらい、基地側との面会后に双方の交流をしましよ、と提案したら快諾していただいた。当日は「府中の会」の岡田会長さんと鈴木事務局長さんを加えて計6名が基地の「面会所」に入り、総務課長の杉淵と名乗る、アタリの柔らかい愛想のいい自衛官ほか1名と面会しました。

結局、航空気象群本部、気象業務隊、航空保安管制群飛行情報隊などが残るらしいという事だけしかわからず。私たちは「質問は、さいたま副都心の北関東防衛局で聞いて来い」などと

いわず、近所に住んでいる地元の住民には、惜しまず情報を提供するように。」
「これに懲りずに、また何度でも来るから宜しく！」
と言い置いて、約20分の面会を終えました。

このあと、岡田さんと鈴木さんに1時間くらいかけて基地の周りを案内してもらい、フェンス越しに基地内の建物群やヘリポートを見ました。途中、返還された基地跡地に建てられた公立の会館で休憩し、16回目の定期総会を開いたことなど「府中の会」の活動ぶりを教えていただき、近いうちに両方の会と合同で府中基地についてのつっこんだ勉強会をもちましよう、と話し合ってきました。

どこへでも出かけて、何でも知ろうという私たち「考える会」の行動で、疑問を一つ一つ解いていき、近くで軍事基地反対の運動をしている仲間の人たちと互いに手を結びあつて行くことが、本当に大切だと再確認しました。(文 井出)

武蔵村山市に完成された自衛隊官舎も見てきました！

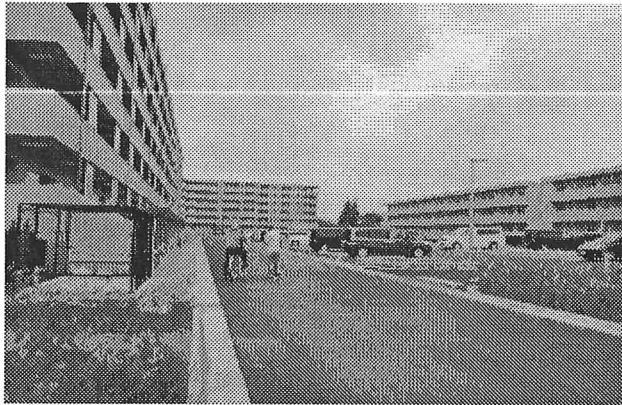
なんと贅沢な自衛隊航空総隊司令部の専用宿舎！

いよいよこの秋、自衛隊府中基地から航空総隊司令部の移転のために「自衛隊横田基地」が新設され、自衛隊員800人という大所帯が横田にやって来る。武蔵村山市には、もう255戸もの自衛隊員用の官舎が完成しているという。

そこで6月10日「考える会」の世話人が5人で、さどこにどんなものが建設されたのかと行ってきた。

今は空き家になってしまっている公務員官舎敷地の北半分に、新築の6階の高層と4階・3階の低層等、全部で4棟が新築されており、外から見ただけでも、各戸が広そうな潇洒な近代的建物に、広い駐車場と集会所のある管理事務所。かわいい動物の遊具のある芝生の公園。思わず「すごい！」とため息。

入居者の若い奥さん風の



女性に聞くと「ええ、府中の人が多いようです」という答えに、「あれ、府中からだけではいんだ！」とびっくり。なる程、駐車場にある車両のナンバーは、府中、大分、尾張小巻、浜松、静岡、札幌、岐阜、等々。どれも航空自衛隊のあるところからのナンバーがズラリと並んでいた。

この東日本大震災で緊急の救援・復旧資金が求められているさなかに、この許し難い無駄遣いを見て、憤懣しきりでした。

横田基地の深夜飛行

平成19年1月～平成23年6月の月間飛行回数 [昭島市拝2小 屋上測定数]

		H 19年			H 20年		
		1月	2月	3月	1月	2月	3月
原告らの差止請求時間帯	21時～22時	71	29	33	42	14	29
	22時～23時	1	0	0	0	0	1
	23時～24時	0	3	0	0	1	0
	0時～1時	0	0	1	0	0	0
	1時～2時	0	0	0	0	3	0
	2時～3時	0	0	0	0	0	0
	3時～4時	0	0	0	0	0	0
	4時～5時	0	0	0	0	0	0
	5時～6時	0	0	0	0	0	0
	小計22時～6時	1	3	1	0	4	1
6時～7時	7	11	17	12	1	6	
総合計	79	43	51	54	19	36	

省	H 22年			H 23年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
略	21	11	40	3	10	13	9	47	41
	0	1	1	1	0	15	2	0	0
	2	2	0	0	1	9	2	1	0
	0	0	1	0	0	3	0	0	0
	0	1	0	0	0	10	0	0	1
	0	1	1	0	0	4	0	0	0
	0	1	0	0	0	2	0	0	0
	0	0	1	0	0	6	0	0	0
	1	0	0	0	0	3	0	0	0
	3	8	4	1	1	52	4	1	1
7	9	15	20	9	22	6	12	10	
31	26	59	24	20	87	21	60	52	

※この日米合意時間帯(「22時～23時」から「5時～6時」まで)の合計回数は昭和52年と同じレベルの回数(4月以降は近年の状況に戻っている)

(納入方法)

- ① 郵便振替 (同封の用紙を使えば、料金はかかりません)
口座番号 00150-5-318061
- ② ゆうちょ銀行口座への振り込み (ゆうちょ銀行の貯金通帳からは無料で送金できます)
口座番号 10170-93828331
- ③ 直接、役員に手渡して下さっても結構です。

(会計担当 島田)

会費納入のお願い
会が発足して3年が経過しました。学習会や調査活動、ニュースやパンフレットの発行、「横田基地もいらない市民交流集会」への参加などの活動を続けてきましたが、これらのためには活動資金が必要です。会則では、「会費は年額一口1000円・口数は任意」となっています。皆さんのご協力をお願い致します。

学習講演会（7月2日） 東日本大震災と「日米 同盟・沖縄基地の行方」

日本平和委員会代表理事

内藤功弁護士が

解き明かす

さる7月2日の横田基地問題を考える会の学習講演会は、45人が参加して、内藤功弁護士（日本平和委員会代表理事）のトモダチ作戦と自衛隊の救援活動をどう見るかの講演をききました。その要旨をお伝えします。

（米軍のトモダチ作戦の主目的は、第一がアメリカ



カの国益を守ること、第二が自衛隊との共同作戦態勢の実践）

その第一の目的は、今回の大震災・原発事故の災害から、建造費51兆円の原子力空母G. ワシントンをはじめ日本にある莫大な米国の資産を守ることであった。

また、福島原発からの放射能被害から守るため、在日米軍の家族や民間人約七四〇〇人を、横田基地などから民間チャーター機で急

遽帰国させた。そして、米核兵器等の対処部隊（CBIR）は、福島第一原発には

一步も入らないで横田基地に待機したままであった。米軍は横田の在日米軍司令部の中に統合司令部をお

き、自衛隊との調整機関を作って、自衛隊に米軍の意向を伝え、平時には行えなかった太平洋米軍主導下の共同作戦態勢を実践した。〈自衛隊の救援活動にあ

る二つの面 自衛隊の災害対処部隊への改編を〉

自衛隊の下級隊員は、被災地で、風呂を作り、食料・医療の提供から遺体の捜索・瓦礫の除去等々の活躍で、大変感謝された。これは被災地の人たちの人間としての素直な気持ちからである。

しかし、自衛隊上層部は、あくまでも日米軍事一体化の推進を目的に、米軍との共同作戦態勢を実践する一方で、この下級隊員の救援

活動を大宣伝した。

国民が感謝しているのは、「武器を持たない自衛隊員の活動」なのだから、「武器を行使する自衛隊は憲法違反」であるという立場を堅持して、これに便乗した軍事費の増大は許さず、国民的討論と理解を経て、将来、非軍事・非戦力の災害対処組織を確立し、自衛隊は解散させる立場にたつことが基本だと考えるべきである。（文責 盛岡）

（会員インタビュー） 川島 進 さん （小平戦争展実行委員会）

1927年1月1日生まれ。小平戦争展実行委員会でも最高齢。公務員の出身。

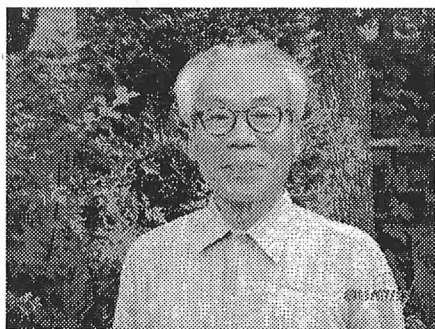
小平戦争展には1998年から関わってこられたとのこと。

戦争展の展示で苦労するのは、「何が問題なのか？」を明確にすること。また、「何処から正確な資料を入手するのか？」同時に「見やすく表現すること」「字を少なくして目で見て判るように表現すること」だそうです。「時間が少ないと、原本をコピーして貼ってしまうことがあります。これでは見ていただいた市民に伝わらない」と。

大変健康そうなので、その秘訣は？と、尋ねました。「前を向いていくこと。後ろは振り向かない。過去のことは考えないで生きていくこと」という答えが返ってきました。また、前向きの人と一緒に歩むことも重要だそうです。同時にアメリカの物を食べないようにしているそうです。例えば、コーラ・ポテトチップス・コーン（トウモロコシ）。それはアメリカでのガン患者が、原子力発電所の周辺に多いという事実が報道されているから。原発による内部被爆を考えているという。しかも、危険な物はアメリカ国内では食べないで、外国に

輸出しているからだという。

息抜きは俳句・短歌だそうです。（聞き手 岩田）



沖縄・高江座り込み参加記

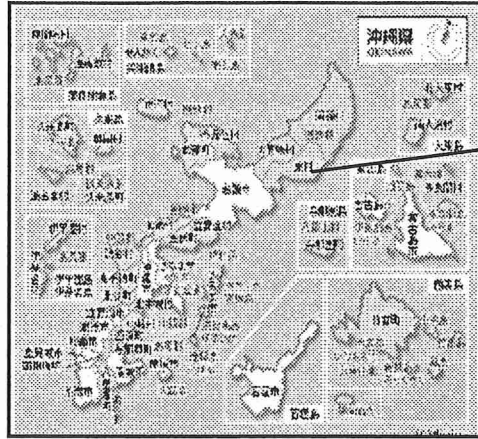
「基地内のヘリパッド建設予定地」を見た

Sさんの話
富久亮輔さん

からの通信(抜粋)

7月3日 東村(高江の属している村) 平良で「高江・座り込み4周年記念集会」が開催された。参加者は500人を超え、椅子席250を遙かに超え大盛会であった。

前半の出し物(ギニアの大鼓、Cocoの歌等々)で三時間の予定を遙かに超過して、四時間半を数えた(東村)



が、誰も退席しない程の熱気であった。

戦々恐々として迎えた翌4日(月)に那覇防衛局は高江に参上せず、拍子抜けに終わるところ、支援者の決起集会で盛り上がった。翌5日も同様であった。空

はあくまでも青く晴れ、風はさわやかであった。小生は過ぎし二月と同様の激しい攻防を予定していたが、防衛局の肩すかし状態に些かの脱力感を味わった。この種の報告書には「何も起こらず、日々は平安なり」と綴り続ける方が良いのかも知れない。但し「当方の態勢の弛緩状態をつき、防衛局いきなり強襲」という

文章が後日の報告に出てこない限りはという条件付きである。防衛局の偵察は毎日続いている。6日、7日、8日と平安は続く。日々平安そのものは結構な事であるがそれでは読者が面白くないだろうと思うので、ある人物の冒険譚を引用しよう。

「私SはF氏とX氏の調査に同行し、N1裏と呼ばれている基地内の獣道(?)

入口から侵入し、オスプレイ・パッド予定地を通り、N1ゲートへの3キロを踏破した。全行程を自力で歩き抜けることが出来るかどうか不安ではあったが、持ち前の無謀さで歩き始めた。F氏に「米兵や防衛局職員に遭遇したらまずいことになりませんか」と問う。何しろ今から歩こうとする行程は米軍基地の内部である。『どうって事はありません。この前も訓練中の海兵隊に会いましたので“ハロー”と声をかけましたが、彼らは無言で通り過ぎました。聞くところによると、訓練中は民間人と口をきいてはいけないそうです』。

先の台風で倒れた木々も行く手を阻む。登り降りもかなり激しい山道で、露出した粘土に足を滑らせ、堆積した腐葉土に足を取られること再三である。これらは3〜6月の期間内には工事がされていない事を物語っ

ている。中間地点につく。ヘリパッド建設予定を伺わせる杭が残置されている。

暫く歩くとやや道が開ける。尚も歩くと2月に土砂を入れて整地(?)したところに着する。歩足をするとN1ゲートから200メートル前後と判明したが、砂利敷設は極めて薄く、ところどころ赤土(あるいは粘土)露出の場所もあり、極めて杜撰。これではN1から重機の往復には耐えることができない。何の為の砂利敷設か真意を疑う。強行工事のアルバイト工作の匂い

あり(米軍に対する言い訳用)。小生、苦笑い。「引用終わり。S様、無断で引用いたしました。御容赦。N1地域の状況や2月の攻防で支援者がほぼ勝利したことが伺えます。



(写真)やんばるの自然と暮らしを守ろうと、老いも若きもいっしょになった会場=3日、沖縄県東村

「横田基地もいらない! 市民交流集会」のお知らせ

とき 10月15日(土) 13:00 開会
ところ 福生市民会館 (大ホール) 牛浜下車

記念講演 伊波 洋一さん (前宜野湾市長)

午前中10時から、基地巡り、展示、DVD上映
集会後、拝島駅までデモ行進

連絡先 拝島法律事務所 (電話) 070-6558-1866 (FAX) 042-513-3375